

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	街路事業				
地区名	都市計画道路 ^{たかね} 高根線				
事業箇所	愛知県半田市 ^{しちほんぎ} 七本木町～ ^{ひらち} 平地町				
事業のあらまし	<p>(都)高根線は半田市北部を縦断する(都)^{おおふほんだ}大府半田線から半田市の市街地を経て都市幹線道路の(都)^{ふじえかめざき}藤江亀崎線に至る地区幹線道路で、半田市北部を横断する路線である。</p> <p>また、半田市の都市計画マスタープランにおいては、市街地内の円滑な交通処理機能を担う道路に位置づけられている。</p> <p>このうち、当該事業区間はJR武豊線の^{かめざき}亀崎駅へのアクセス機能を担っているが、一部幅員が4m程度の1車線道路であり、走行性が確保されていない。また、^{かめざき}亀崎中学校の通学路に指定されているが、歩道が未整備であり、歩行者や自転車等の安全が確保されていない。</p> <p>このため、「駅へのアクセス機能の強化」「交通安全対策の強化」を主な目的として、(都)高根線の現道拡幅整備を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>① 駅へのアクセス機能の強化</p> <p>② 交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (H25)	再評価時 (H30)	変動要因の分析	
	事業期間	H26～H30	H26～H32	地元調整の難航によるもの	
	事業費（億円）	6.1	9.4		
	経費内訳	工事費	1.5	2.0	精査によるもの
		用補費	4.2	6.4	物件調査結果によるもの
その他		0.4	1.0	精査によるもの	
事業内容	現道拡幅整備 延長 581m 幅員 16m 2車線	同左			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>①駅へのアクセス機能の強化</p> <p>JR武豊線の亀崎駅の乗降客数は2,245人(H25)であり、駅への送迎等の需要がある。当該路線は駅へのアクセス機能を担っているが、一部幅員が4m程度の1車線道路であり、走行性が確保されていない。また、交通量は4,889台/日(H22センサスペース)、旅行速度は22.3km/h(H22センサスペース)となっている。</p> <p>②交通安全対策の強化</p> <p>亀崎中学校の通学路に指定されているが、歩道が未整備であり、歩行者や自転車等の安全確保が求められている。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> JR武豊線の亀崎駅の乗降客数は2,573人(H28)となっている。 H27センサスペースでは交通量は4,828台/日、旅行速度は17.1km/hとなっている。 <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 亀崎駅の乗降客数が増加(約15%増加)しているが、H22センサとH27センサにおいて交通量の大きな変動(61台/日減少)はなく、事業着手時と同様に当該事業区間の整備が求められている。 			

判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>																																																																																																					
	<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅へのアクセス機能の向上が求められているとともに、歩道が未整備で歩行者及び自転車等の安全が確保できておらず、事業の必要性は依然として高いため。 																																																																																																						
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="6">←————→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←————→</td> <td>←————→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←————→</td> <td>←————→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>当初計画</td> <td colspan="4">4.9</td> <td>1.2</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="4">0.2</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="4">0.2</td> <td colspan="3">9.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.58</td> <td>0.00</td> <td>0%</td> <td>0.58</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>4.9</td> <td>0.2</td> <td>4%</td> <td>9.4</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>0.3</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> <td>2.0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>4.2</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> <td>6.4</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td>50%</td> <td>1.0</td> <td>20%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部分供用済みの区間はなし。 			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	工種区分	調査・設計	←————→								用地補償					←————→	←————→		工事						←————→	←————→	事業費(億円)	当初計画	4.9				1.2			実績	0.2							今回計画	0.2				9.2				これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	0.58	0.00	0%	0.58	0%	事業費(億円)	4.9	0.2	4%	9.4	2%	工事費	0.3	0.0	0%	2.0	0%	用補費	4.2	0.0	0%	6.4	0%	その他	0.4	0.2	50%	1.0	20%
			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32																																																																																														
	工種区分	調査・設計	←————→																																																																																																				
		用地補償					←————→	←————→																																																																																															
		工事						←————→	←————→																																																																																														
	事業費(億円)	当初計画	4.9				1.2																																																																																																
		実績	0.2																																																																																																				
		今回計画	0.2				9.2																																																																																																
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																		
		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																	
延長(km)	0.58	0.00	0%	0.58	0%																																																																																																		
事業費(億円)	4.9	0.2	4%	9.4	2%																																																																																																		
工事費	0.3	0.0	0%	2.0	0%																																																																																																		
用補費	4.2	0.0	0%	6.4	0%																																																																																																		
その他	0.4	0.2	50%	1.0	20%																																																																																																		
2) 未着手又は長期化の理由	<p>地元調整に時間を要したため、事業の完了予定が2か年遅れた。</p>																																																																																																						
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな阻害要因はないが、用地を取得中であるため、用地買収の完了に向けて引き続き交渉を行っていく。 <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費ベースでは2%程度の進捗であるが、地元調整が概ね整い、平成30年度から用地買収に着手しており、今後も引き続き用地取得を進め、平成32年度に事業完了する見込みである。 																																																																																																						
判定	B	<p>A： これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B： 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・ これまで事業長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○ これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																																					

		<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで地元調整の難航により事業が遅延したが、引き続き用地取得及び工事を進めることで、平成 32 年度に完了が見込めるため。
<p>Ⅲ 対応方針</p>		
<p>継続</p>	<p>中止：上記①～②の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>	
<p>Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容</p>		
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度を定量的に評価する。 ・自転車、歩行者の通行の安全性に関する地元の満足度（アンケート）を評価する。 		